

報道発表資料の配付日時 2月13日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	「令和元年度(2019年度)第2回知床世界自然遺産地域科学委員会海域ワーキンググループ会合」及び「令和元年度(2019年度)第2回知床世界自然遺産地域科学委員会」の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>標記について、次のとおり開催しますので、お知らせいたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>I 令和元年度(2019年度)第2回知床世界自然遺産地域科学委員会海域ワーキンググループ会合(事務局:環境省釧路自然環境事務所、北海道)</p> <p>1 日時:令和2年(2020年)2月20日(木)10:00~12:00(予定)</p> <p>2 場所:北海道立道民活動センター かでの2・7 520研修室</p> <p>3 議題(予定)</p> <p>(1)平成30(2018)年度長期モニタリング項目評価調書(案)・資料集(案)について</p> <p>(2)平成30(2018)年度海域管理計画定期報告書(案)について</p> <p>(3)長期モニタリング計画の評価項目の評価について</p> <p>(4)第43回世界遺産委員会決議の対応について</p> <p>(5)その他</p> <p>※会議の概要については、別紙1を参照願います。</p> <p>II 令和元年度(2019年度)第2回知床世界自然遺産地域科学委員会(事務局:環境省釧路自然環境事務所、林野庁北海道森林管理局、北海道)</p> <p>1 日時:令和2年(2020年)2月20日(木)14:00~17:00(予定)</p> <p>2 場所:北海道立道民活動センター かでの2・7 520研修室</p> <p>3 議題(予定)</p> <p>(1)各ワーキンググループ等の検討状況等について</p> <p>(2)第43回世界遺産委員会決議への対応について</p> <p>(3)長期モニタリングについて</p> <p>(4)その他</p> <p>※会議の概要については、別紙2を参照願います。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	会議は、どちらも公開で行います。 資料は、当日会場で配布します。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	環境省釧路自然環境事務所(I及びII) 林野庁北海道森林管理局(IIのみ)
担当	環境生活部環境局生物多様性保全課(担当者:片原) TEL:直通011-204-5204 (内線24-354)		
担当	環境省釧路自然環境事務所国立公園課(担当者:高辻、平田) TEL:直通0154-32-7500		

知床世界自然遺産地域科学委員会
海域ワーキンググループについて

1 目的

知床世界自然遺産地域における海域の保全と海域管理計画の推進状況及び見直しに対する科学的立場からの助言を得るため、知床世界自然遺産地域科学委員会設置要綱第4条第4項に基づき、海域ワーキンググループを設置する。

2 構成

○ 委員

(科学委員会委員)

桜井 泰憲 【座長】 函館頭足類科学研究所所長(北海道大学名誉教授)
牧野 光琢 東京大学大気海洋研究所国際連携研究センター教授
三寺 史夫 北海道大学低温科学研究所教授
綿貫 豊 北海道大学大学院水産科学研究院教授

(特別委員)

小林 万里 東京農業大学教授
千葉 晋 東京農業大学教授
中多 章文 北海道立総合研究機構釧路水産試験場調査研究部長
服部 寛 東海大学名誉教授
隼野 寛史 北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場さけます資源部長
松田 裕之 横浜国立大学大学院教授
三谷 曜子 北海道大学北方生物圏フィールドセンター准教授
山村 織生 北海道大学大学院水産科学研究院准教授

○ オブザーバー

羅臼漁業協同組合、斜里第一漁業協同組合、ウトロ漁業協同組合、網走漁業協同組合、公益財団法人知床財団

○ 地元自治体

斜里町、羅臼町

○ 関係行政機関

第一管区海上保安本部、水産庁、林野庁(北海道森林管理局)、北海道水産林務部等

○ 事務局

環境省(釧路自然環境事務所)、北海道環境生活部

※検討内容に応じて、適宜、特別委員を追加する場合がある。

知床世界自然遺産地域科学委員会

委員長：桜井 泰憲氏

(函館頭足類科学研究所所長(北海道大学名誉教授))

科学的な知見に基づく順応的な保全管理を実現するために設置。行政が行う事業や施策等について科学的な視点から助言する。また、特定の課題に対応するため、次の4つのワーキンググループ等を設置している。

- ・ 海域ワーキンググループ
- ・ エゾシカ・ヒグマワーキンググループ
- ・ 河川工作物アドバイザー会議
- ・ 適正利用・エコツーリズムワーキンググループ

知床世界自然遺産地域科学委員会設置要綱

(目 的)

第1条 世界自然遺産に登録された知床の自然環境を把握し、科学的なデータに基づいて陸域と海域の統合的な管理に必要な助言を得るため、学識経験者による委員会を設置する。

(検討事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について、必要な検討を行う。

- (1) 世界自然遺産地域の保護管理に関する事項
- (2) 保護管理のための調査研究・モニタリングに関する事項
- (3) その他目的達成のために必要な事項

(構 成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員、オブザーバー、及び事務局をもって構成する。

- (1) 委 員
事務局長から委嘱された学識経験者
- (2) オブザーバー
保護管理に関係する行政機関
- (3) 事務局
第5条第1項に定める行政機関

(運 営)

第4条 委員会は、委員長が招集し、議事進行を行う。

- 2 委員長は、委員の互選により選出する。
- 3 委員長は、必要に応じて、委員以外の学識経験者等に対し、委員会への出席を求めることができる。
- 4 委員会は、重要な事項について検討を深めるため、委員会のもとに部会、ワーキンググループ、アドバイザー会議等を設置することができる。
- 5 委員会は、原則として公開とする。

(事務局)

第5条 委員会の事務局は、環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所、林野庁北海道森林管理局及び北海道によって構成し、対外的な連絡窓口は環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所が務める。

- 2 事務局長は、環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所長が務める。

(その他)

第6条 委員会は、世界自然遺産地域の適正な管理に資するため、知床世界自然遺産地域連絡会議及び知床世界自然遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議等との連携・協力を図る。

- 2 上記に定めのない事項で、委員会の運営に必要なものについては、別に定める。

(附 則)

この要綱は、平成16年7月8日から施行する。

平成17年8月26日一部改正

平成17年10月1日一部改正

平成22年7月24日一部改正

知床世界自然遺産地域科学委員会構成メンバー

令和元年度の知床世界自然遺産地域科学委員会の構成メンバーです。

■委員

氏名	役職
愛甲 哲也	北海道大学大学院農学研究院 准教授
石川 幸男	弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 教授
宇野 裕之	北海道立総合研究機構環境科学研究センター 研究主幹
梶 光一	東京農工大学 名誉教授／兵庫県森林動物研究センター 所長
工藤 岳	北海道大学大学院地球環境科学研究院 准教授
桜井 泰憲 *	函館国際水産・海洋都市推進機構函館頭足類科学研究所 所長 ／北海道大学 名誉教授
敷田 麻実	北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 教授
志田 修	北海道立総合研究機構稚内水産試験場 場長
中村 太士	北海道大学大学院農学研究院 教授
牧野 光琢	東京大学大気海洋研究所国際連携研究センター国際学術分野 教授
三寺 史夫	北海道大学低温科学研究所 教授
綿貫 豊	北海道大学大学院水産科学研究院 教授

(以上 50 音順敬称略、*印 委員長)

■事務局

環境省釧路自然環境事務所
林野庁北海道森林管理局
北海道